

平成 28 年度 実験・実習費に関する調査の結果について

1 アンケート協力校について

アンケート協力校は 357 校（昨年度：307 校、一昨年：278 校）であった。

支部名	学校数	農業単独校	併設校	総合学科校	その他
北海道	29	17	6	6	0
東北	54	19	17	16	2
関東	63	18	30	15	0
北信越	36	14	9	11	2
近東	57	18	32	6	1
中国	24	6	17	1	0
四国	29	8	15	5	1
九州	65	25	35	5	0
合計	357	125	161	65	6

2 校種

	農業単独校	併設校	総合学科	その他
本年度	35%	45%	18%	2%
昨年度	34%	48%	17%	1%

・昨年度とほぼ同様。

3 学校規模（在籍数）

	500人以上	400～499人	300～399人	200～299人	100～199人	100人未満
本年度	13%	7%	11%	13%	21%	35%
昨年度	14%	12%	11%	15%	21%	27%

・100人未満の学校が少し増加した。400人以上の学校が少し減少した。

4 収入を伴う実験・実習費について

(1) 平成 27 年度売上金額

	1000万以上	500～1000万未満	100万～500万未満	100万未満
本年度	33%	25%	29%	13%
昨年度	36%	26%	30%	8%

・100万円未満の学校が少し増加した。

(2) 会計規模の大きな（1000万円以上）学校の割合

	農業単独校	併設校	総合学科校
本年度	60%	39%	1%
昨年度	61%	38%	1%

・学校の割合は、昨年度とほぼ同じ。

(3) 最も収入の多い分野

	野菜	草花	果樹	畜産	食品	お茶	水稲	その他
本年度	49校	72校	25校	124校	43校	1校	24校	10校
昨年度	36校	57校	23校	103校	35校	3校	26校	4校

・昨年度同様、最も収入が多いのは畜産であり、以下草花、野菜、食品の順であった。

(4) 平成27年度支出金額

	1000万以上	500万～1000万未満	100万～500万未満	100万未満
本年度	34%	24%	30%	12%
昨年度	37%	28%	30%	5%

・100万未満が少し増加した。

(5) 支出金額は売上金額の何%ぐらいを目安にしているか。

	90%以上	90～80%	80%以下
本年度	67%	18%	15%
昨年度	64%	19%	17%

・前年度同様、支出の目安は「売上げの90%以上」と回答する学校が約7割で最も多かった。

(6) 共通経費について（使用する対象項目を複数回答可）

	水道	ガス	電気	暖房	修繕	農薬	共済
本年度	94校	58校	100校	98校	178校	58校	43校
昨年度	77校	45校	85校	91校	162校	50校	45校

・前年度同様、修繕費が最も多かった。

(7) 共通経費に関する意見

- ・施設設備及び機械の老朽化により修繕費が多くかかる。
- ・車両の維持費が大きな負担となっている。
- ・燃料費が多くかかり負担となっている。

(8) 売上金を多く上げて、県に納入したら次年度の予算・備品購入等で影響しますか。

	影響する	影響しない	その他
本年度	25%	71%	4%
昨年度	27%	69%	4%

・昨年度同様、「影響しない」が約7割を占めた。

(9) 売上金が予定金額を下回った場合、次年度予算・備品購入等に影響しますか。

	影響する	影響しない	その他
本年度	24%	71%	5%
昨年度	26%	66%	8%

・昨年度同様、「影響しない」が約7割を占めた。

5 収入を伴わない実験・実習費について

(1) 農業単独校

ア 会計規模

	200万以上	100万～200万未満	50万～100万未満	50万未満
本年度	31%	26%	17%	26%
昨年度	32%	28%	20%	20%

・昨年度と比べ、50万円未満の割合が少し増加した。

イ 農業単独校における学科の違いによる比較（一人当たりの実験・実習費）

	生産を伴う科の方が多い	生産を伴わない科の方が多い	学科に関係なく同一
本年度	27%	21%	52%
昨年度	22%	25%	53%

・昨年度と比べ、「生産を伴う科の方が多い」の割合が少し増加した。

ウ 農業単独校における分配基準

	生徒数	学科数	基準なし
本年度	29%	15%	56%
昨年度	27%	21%	52%

・昨年度と比べ、「基準なし」の割合が少し増加した。

(2) 併設校及び総合学科校

ア 会計規模

	200万以上	100万～200万未満	50万～100万未満	50万未満
本年度	16%	12%	20%	52%
昨年度	17%	19%	24%	40%

・昨年度と比べ、50万円未満の割合が少し増加した。

イ 併設校及び総合学科校における学科の違いによる比較（一人当たりの実験・実習費）

	農業に関する学科の方が多い	農業科以外の科の方が多い	学科に関係なく同一
本年度	45%	27%	28%
昨年度	40%	25%	35%

・昨年度と比べ、「農業に関する学科の方が多い」の割合が少し増加した。

ウ 併設校及び総合学科校における分配基準

	生徒数	学科数	基準なし
本年度	26%	14%	60%
昨年度	29%	11%	60%

・昨年度と比べ、ほぼ同じ割合であった。

6 まとめ

- (1) アンケート協力校が昨年度と比べ50校増加した。
- (2) 収入を伴う実験・実習費についてのアンケートの中の「売上金額」において、昨年度と比べ1000万円以上が3ポイント減少し、100万円未満が5ポイント増加したことにより、全体的に若干、会計規模が低下していると感じる。
- (3) 収入を伴わない実験・実習費についてのアンケートの中の「会計規模」において、昨年度と比べ200万円以上が1ポイント減少し、100万円から200万円未満でも2ポイント減少し、50万円未満は6ポイント増加したことにより、全体的に若干、会計規模が低下していると感じる。
- (4) 共通経費に関する意見において、施設設備や機械の老朽化が進み、修繕費が占める割合が増えて困っているという意見が多かった。